

めぐみイエス・キリスト教会

2025年6月15日(日)第三主日昇天礼拝

午前10時より

週報「通算第763号」



2025年標題聖句

イザヤ書40章30節～31節

《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌136「御霊よ降りて」 p. 192

【交読文】 No.55 ヨハネの福音書15章(抜粋) p. 923

【賛美Ⅱ】 新聖歌385「主よ終りまで」 p. 620

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「聖霊の風」

【聖書朗読】 ルカの福音書9章37節～42節 (p. 132下段)

【礼拝説教】 《悪霊を追い出す権威とは？》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカの福音書9章37節～42節)

9:37 次の日、一行が山から下りて来ると、大勢の群衆がイエスを迎えた。

9:38 すると見よ、群衆の中から、一人の人が叫んで言った。「先生、お願いします。息子を見てやってください。私の一人息子です。」

9:39 ご覧ください。霊がこの子に取りつくと、突然叫びます。そして、引きつけを起こさせて泡を吹かせ、打ちのめして、なかなか離れようとしません。

9:40 あなたのお弟子たちに、霊を追い出してくださいとお願いしたのですが、できませんでした。」

9:41 イエスは答えられた。「ああ、不信仰な曲がった時代だ。いつま

で、わたしはあなたがたと一緒にいて、あなたがたに我慢しなければならないのか。あなたの子をここに連れて来なさい。」

9:42 その子が来る途中でも、悪霊は彼を倒して引きつけを起こさせた。しかし、イエスは汚れた霊を叱り、その子を癒やして父親に渡された。

●ポイント1. 共観福音書(マタイの福音書)における平行記事から

※マタイの福音書17章14節～21節「弟子の質問」 (新約p.35上段)

17:14 彼らが群衆のところに行くと、一人の人がイエスに近寄って来て御前にひざまずき、

17:15 こう言った。「主よ、私の息子をあわれんでください。てんかんで、たいへん苦しんでいます。何度も火の中に倒れ、また何度も水の中に倒れました。

17:16 そこで、息子をあなたのお弟子たちのところに連れて来たのですが、治すことができませんでした。」

17:17 イエスは答えられた。「ああ、不信仰な曲がった時代だ。いつまであなたがたと一緒にいなければならないのか。いつまであなたがたに我慢しなければならないのか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」

17:18 そして、イエスがその子をお叱りになると悪霊は出て行き、すぐにその子は癒やされた。

17:19 それから、弟子たちはそっとイエスのもとに来て言った。「なぜ私たちは悪霊を追い出せなかったのですか。」

17:20 イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに言います。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」

●ポイント2. 主イエスが私たちに教えている二つ目のこととは

※ヘブル人への手紙11章1節および6節「信仰とは」(新約p.451下段)

◎先週のメッセージ【ペンテコステの日に】

《今日はペンテコステです。その日の朝の9時ヨハネ・マルコの家で、『五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国々から来て住んでいたが、この物音がした為、大勢の人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国の言葉で弟子たちが話すのを聞いて、呆気にとられてしまった。』と、あります。

集まって来た人々はギリシャ語をおもに話す、ディアスポラのユダヤ人で、彼らは、ローマ帝国の様々な州から巡礼に来ていました。

この後、集まった人々を見たシモン・ペテロは、聖霊に満たされて、その生涯における最高の伝道メッセージを語るようになります。

「ですから、イスラエルの全家は、このことをはっきりと知らなければなりません。神が今やキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」「兄弟たち、私たちはどうしたらよいのでしょうか。」「それぞれ罪を赦していただく為に悔い改めて、主イエスの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば賜物として聖霊を受けます。」

シモン・ペテロは、はっきりと彼らに「罪」を示しました。その罪とは、イエス・キリストを十字架につけたことなのです。「十字架につけろ。」

主イエスが昇天される日、ヨハネ・マルコの家にて、弟子たちと最後の食事を取られた時に預言されたように、エルサレムから、罪の赦しを得させる「悔い改め」が始まったのです。

今から二千年ほど前に聖霊が降臨されました。このお方は、助け主であり、慰め主であります。主イエスの霊とも言われる聖霊は、主を信じ従う者の中に住んで下さり、私たちを助けて下さるのです。

私たちには、助けを求めるお方が与えられています。そして、そのお方は、まだ地上に留まっておられ、何時も共にいて下さいます。》

◎お知らせ

※次回第四主日礼拝は、2025年6月22日午前10時より行ないます。